

社協だより

社会福祉法人
宇陀市社会福祉協議会



『成年後見市民シンポジウム in 宇陀』が、2月16日(土)宇陀市「農林会館」で開催され、115名の方が参加されました。

第一部の基調講演では「転ばぬ先の老前整理」をテーマに、モノの整理だけでなく、これからの生き方を考え、より良く暮らすためにはどうすればいいか、さまざまな事例と対処法を挙げて「モノと心の整理」を無理なく進めるための知恵を学びました。

第二部のパネルディスカッションでは、身寄りのない高齢者が増えてきている現状から、「今住んでいる家をどう処分したらいいのか」など、元気なうちにどんな「備え」をしておけば、安心した老後を過ごせるのかについて意見交換が行われました。何かありましたら、宇陀市社会福祉協議会までご相談ください。

主な内容

- 2・・・平成31年度 事業計画
- 4・・・平成31年度 当初予算
共同募金(学校募金)
寄付をいただきました
- 5・・・社協正規職員(社会福祉士)募集
「やさしい手話教室」(基礎課程)受講者募集
- 6・・・相談日のお知らせ
リサイクル情報・善意銀行

平成31年度事業計画

急速な少子高齢化の進行や人口の減少に伴う過疎化、家庭環境の変化などによって、地域社会や家庭の様相は大きく変容し、地域コミュニティや人とのつながりの希薄化など、地域での様々な問題が深刻化しています。

こうした状況に適切に対応し、「地域社会への」「福祉のまちづくり」を実現するために、地域の住民・行政・民生児童委員・まちづくり協議会・ボランティアなど関係機関団体と協働しながら、「地域の支え合い」を大切に、従来の制度やサービスの枠組みだけでは十分対応できない複合的で多様化した生活課題・地域課題を解決するために取り組んでいきます。

また、昨年度に引き続き、生活再建に向けて既存の事業との連携を強化し、生活全体を支援する体制づくりの拡充を図り、成年後見事業についても、制度の相談や受任への取り組みなど、権利擁護体制の構築を推進していきます。さらに本年度は、宇陀市の行政計画である「地域福祉計画」が策定されることを受けて、本会では地域福祉に関する活動・事業を具体化した「地域福祉活動計画」の策定に着手します。

重点目標

- 1 福祉のまちづくりに向けてのネットワークづくり
- 2 ボランティア事業の推進
- 3 地域福祉活動計画の策定
- 4 成年後見制度における法人後見の充実
- 5 生活支援の仕組みづくり
- 6 総合相談支援体制の充実

≪主な事業内容≫

1 法人運営の適正化と組織の機能強化

- ① 会務の運営
- ② 監査の実施と財務諸表の公表
- ③ 役員・職員の資質向上及び、研修体制の強化

2 安心安全ネットワークづくり

一人暮らし高齢者、障がい者等、誰もが安心して生活が送れるよう、地域での見守りを地域住民、自治会、民生児童委員、まちづくり協議会等との協働により、「地域への」「体制づくり」を図り、住み慣れた地域で共に暮らせるよう、見守り体制を構築し、支援体制を推進します。

3 地域福祉活動計画の策定

①本年度、市では地域福祉を推進する上での基本的な方向性・理念を明らかにする地域福祉計画を策定することに鑑み、本会では、地域福祉計画をもとに、具体的な実現に向けての活動内容を定める『地域福祉活動計画』を策定します。

②地域福祉活動計画は、福祉課題の解決に取り組み、より良い地域社会を構築し「地域の助け合いによる地域福祉」を推進するために、自助、共助・互助、公助の連携体制の充実を目指し、地域の福祉課題や生活課題に応じた解決への指針とします。

4 地域福祉支援活動事業

「共に支え合う地域福祉の推進」を目指した、地域活動を具体的に担っていくため、ボランティア活動の推進に取り組みます。

◆いきいきサロン

集会所等において、歌・軽体操・手芸・レクリエーション等を通じて高齢者の閉じこもりを防ぎ、交流の促進を図り、要支援・要介護状態への進行を防止します。

◆らくらくバスの運行

移動に困難な地域の一部で日常生活の便宜を図るため運行します。

◆高齢者等サポート隊

高齢者、障がい者など誰もが地域の中で安心して生活していくために、見守り・声かけ訪問活動等の支援活動を行います。

◆お元気コール

ひとりの暮らし高齢者等に安否確認

を電話で行い、孤独感の解消を図ります。

◆声の便り広報

目の不自由な方に「広報うだ」、「社協だより」をニアップ等に吹き込み貸し出します。

◆絵手紙通信

一人暮らし高齢者等に絵手紙を送り、心の交流を図ります。

◆認知症の方とその家族の方への支援

介護者の方の悩みを聞いたり、一人で不安な方の話し相手をしたりします。

5 生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするために、いきいきサロンや地域の見守り活動等を通じて、地域の実情や住民ニーズに応じた多様な支え合いの仕組みづくりの構築を行い、生活支援体制事業を推進します。

6 成年後見事業

高齢者や障がい者など判断能力が不十分なことにより、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、社協が成年後見人となることにより、本人の財産管理、身上監護を行

い、安心して日常生活を送ることができるように支援します。

7 療育教室支援事業 こあら教室

発達への何らかの遅れが疑われるお子さんの個々の発達状態にあわせた支援や日中活動の場を提供し、一人ひとりの心身の健やかな成長を促すとともに、自立した生活を営むことができるよう基礎となる力を育てます。

8 ボランティアセンター事業

9 家計相談支援事業

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計の収支バランスを立て直すための課題を明らかにし、相談者自身が家計を管理できるように、早期の生活再生を支援します。

10 総合相談事業

- ① 日常的な総合相談
- ② 専門相談（弁護士・精神科医相談）

11 日常生活自立支援事業

判断能力に不安のある、高齢者や障がい者の方を対象に日常生活上の不安に対して、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、金融機関での払出し・預入等の援助を行います。

12 ウェルネスシニア健康学校事業

地域の高齢者の方々が、積極的に心身の健康維持、増進を図り、健康でいつまでも地域で暮らし続けられるように、地域の身近な方々で介護予防等の活動に取り組める、ボランティアの指導者を養成します。

13 ライフサポート事業

高齢者及び障がい者等の日常生活上での困りごとに対して、ちょっとした家事援助（食事の片付け・洗濯干し等）・「ミミ出し・電球交換などを行うことにより、住み慣れた地域で在宅生活を継続していくために、地域での暮らしを支える仕組みづくりを構築し、地域で活動していただける、ライフサポーターボランティアの養成を行います。

14 共同募金運動の推進

15 手話奉仕員養成事業

16 聞こえのサポーター養成講座

17 宇陀市医療介護あんしんセンターへの職員派遣

18 家族介護者交流事業

19 家族介護教室

20 生活困窮者支援事業

- ① 生活福祉資金貸付事業
- ② 緊急食料支援事業

21 広報誌等の発行

22 善意銀行の運営

23 福祉用具（車椅子）の貸与

24 不用品リサイクル

- ① 不用品のリサイクルの仲介
- ② 就職活動グッズの貸し出し

25 社会福祉大会の共催

26 その他福祉に関する事業

平成31年度 当初予算

収入

単位：円

区 分	予 算 額
会費収入	10,000
寄附金収入	49,000
経常経費補助金収入	61,788,000
市補助金	42,026,000
市負担金	15,233,000
県社協補助金	60,000
共同募金配分金	4,469,000
受託金収入	30,019,000
市受託金	29,827,000
県社協受託金	192,000
事業収入	923,000
利用料	923,000
その他の収入	12,000
積立資産取崩収入	6,427,000
合 計	99,228,000

支出

単位：円

区 分	予 算 額
人件費支出	70,945,000
事業費支出	9,774,000
日常生活自立支援	60,000
生活福祉資金	132,000
地域福祉活動推進	3,927,000
いきいきサロン	568,000
らくらくバス運行	2,607,000
生活支援体制整備	188,000
家族介護教室・介護者交流	70,000
手話奉仕員養成	378,000
聞こえのサポーター養成	130,000
高齢者等サポート隊	79,000
成年後見	409,000
ウェルネスシニア健康学校	336,000
善意銀行	50,000
家計相談支援	20,000
療育教室支援	637,000
ライフサポート	90,000
ワンコイン生活支援	93,000
事務費支出	5,527,000
共同募金配分金事業費	4,469,000
助成金支出	2,144,000
固定資産取得支出	3,000,000
その他の支出	3,298,000
予備費支出	71,000
合 計	99,228,000

予算総額

99,228,000 円



共同募金(学校募金) 寄付をいただきました

大宇陀小学校、室生小学校のみなさんが、学校で募金活動をしてくださいました。いただきました寄付金は、市内の地域福祉活動に役立てられます。本当にありがとうございました。

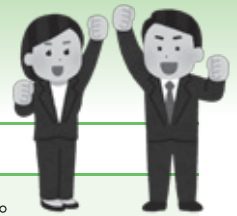


室生小学校



大宇陀小学校

宇陀市社会福祉協議会 正規職員 社会福祉士 募集



◆ 募集職種	社会福祉士	◆ 採用人数	若干名
◆ 受験資格	①昭和59年4月2日以降に生まれた方で、社会福祉士の資格を有する方。 ②普通自動車免許を有する方（AT限定可）		
◆ 採用予定日	2019年8月1日（木）		
◆ 勤務条件	勤務形態：週5日制 休日：土曜日、日曜日及び国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） 勤務時間：午前8時30分～午後5時15分（内1時間の休憩：実7時間45分勤務） その他：本会就業規則による 給料等：本会給与規程による		
◆ 選考方法	筆記試験（専門試験）・小論文 及び 面接試験		
◆ 試験日時	2019年6月16日（日）午前9時から 午前：筆記試験・小論文 午後：面接		
◆ 試験場所	宇陀市中央公民館 菟田野分館（宇陀市菟田野松井502番地）		
◆ 合否の発表	受験者全員に選考結果を通知します		
◆ 申込方法	必要な書類を添付の上、宇陀市社会福祉協議会事務局へ提出。（郵送可） 必要書類：①履歴書 ②資格証明書の写し ※なお、提出書類については、返却いたしませんのでご了承ください。提出いただきました個人情報については、本採用業務以外の目的に使用することはありません。		
◆ 受付期間	2019年5月31日（金）まで（土・日・祝日を除く） 午前8時30分～午後5時15分まで（郵送の場合 5月31日必着）		
◆ 申込先 （問合せ）	宇陀市社会福祉協議会（☎0745-84-4116） 〒633-2221 宇陀市菟田野松井502番地（宇陀市中央公民館菟田野分館内）		



「やさしい手話教室」（基礎課程）受講者募集

耳の不自由な方との交流やボランティア活動をするために、日常会話に必要な手話（基礎課程）を学んでみませんか。

日時	2019年5月24日～2019年12月20日までの毎週金曜日 全30講座（8月16日は休み） 午後7時30分～午後9時		
場所	榛原総合センター	定員	20名（先着順）
対象	次の全ての条件に該当する方 ①宇陀市内在住・在勤・在学の方。 ②原則として、全ての課程（30講座）を受講できる方。 ③手話教室入門課程を修了された方、もしくは、手話で挨拶、自己紹介程度の会話が可能な方。		
費用	受講料は無料です。（テキスト代3,240円は実費負担） ※平成30年度にテキストを購入された方はそのままご使用いただけます。		
申し込み	5月17日（金）までに宇陀市社会福祉協議会へ申し込んでください。 TEL：0745-84-4116 IPTEL：0745-88-9202 （申込者が少ない場合は、今年度の講座を中止する場合があります。）		
その他	全講座のうち8割以上出席された方に修了証をお渡しします。		

相談日のお知らせ

弁護士による福祉専門相談

【要予約 先着2件】

■日時 5月14日(火)
6月11日(火)
午前10時～正午まで

精神科医による専門相談

【要予約 先着2件】

■日時 5月20日(月)
6月17日(月)
午後2時～午後4時まで

場所・申込先 宇陀市社会福祉協議会

☎ 0745-84-4116 IP☎ 0745-88-9202

※ 弁護士・精神科医の相談日時と場所は、変更する場合があります。

リサイクル情報

★申し込みは、宇陀市社会福祉協議会までご連絡ください。
☎ 0745-84-4116 IP☎ 0745-88-9202

宇陀市社会福祉協議会では『もったいない』そんな心を大切に、リサイクルをしています。家庭にある不用品を譲ったり、求める人の仲介を行っています。ただし、家電製品は取り扱っておりません。譲っていただく品物は、希望者が現れるまでご自宅で保管していただきます。希望者が現れるまでに処分されましたら、宇陀市社会福祉協議会までご連絡ください。

☆譲ります☆

- ダブルベッド（マットレス付）

☆譲ってください☆

- 自転車（婦人用）
- ヤマハグランドピアノ

社会福祉法人 宇陀市社会福祉協議会

〒633-2221 奈良県宇陀市菟田野松井 502 番地
(宇陀市中央公民館 菟田野分館内)

部署	電話番号	IP電話	FAX 番号
総務・地域福祉支援係	0745 84-4116	0745 88-9202	0745 84-3600

宇陀市社会福祉協議会ホームページ
<http://www.udashi-shakyo.jp/>



善意銀行

宇陀市善意銀行に次の方から預託いただきました。
厚くお礼申し上げます。
(2/1～3/31 受付分)

- ◆ 宇陀市ゴルフ協会 33,106円
- ◆ 匿名・・・62円切手200枚 (絵手紙用として)

【問】宇陀市社会福祉協議会